

診療科の概要

当科では、一般外科疾患、消化器外科疾患、乳腺疾患を診療しており、救急疾患に対する緊急手術にも対応しています。主な悪性疾患では、甲状腺癌、乳癌、胃癌、肝癌、胆道癌、膵癌、大腸癌と領域ごとに担当医を配置し、手術治療のみならず化学療法を含めた集学的な治療を行っています。良性疾患としては、腸閉塞症、鼠径ヘルニア、急性虫垂炎、胆嚢結石症、肛門疾患などの診療を行っています。

2024年の診療実績としては、計647件の手術を行い、全身麻酔下の手術は459件行われました。悪性疾患の手術症例は、主なもので胃癌31例、肝癌19例、胆道癌14例、膵癌10例、大腸癌104例、乳癌24例となっています。同じく良性疾患では、胆石症84例、虫垂炎41例、鼠径ヘルニア90例でした。

医師のご紹介

受付 時間	外来診療担当医師				
	月	火	水	木	金
8:00 ～ 11:30	三橋 佑人 上部消化管・外科一般	加藤 雅志 下部消化管・外科一般	豊木 嘉一 肝胆膵	木村 憲央 肝胆膵・外科一般	加藤 雅志 下部消化管・外科一般
	神 寛之 下部消化管・外科一般	川嶋 啓明 乳腺	川嶋 啓明 乳腺	神 寛之 下部消化管・外科一般	内田 知顕 肝胆膵・外科一般

病棟担当

山田 貴大 外科一般	守屋 拓実 外科一般
---------------	---------------

※お急ぎのご相談の場合は、外科外来へご相談ください。随時対応いたします。



領域ごとに担当医を配置し、消化器がん・乳がんを中心に
胆石症・虫垂炎などの良性疾患まで幅広く治療を行っています。

ご連絡はこちらへ
(地域医療連携室)

☎ 017-734-2171(内線7124・5110)

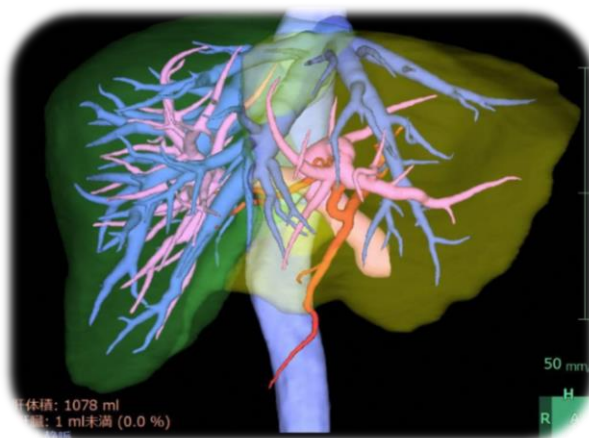
📠 017-734-2177

✉ a-shimin-renkei@aomori-city-hospital.jp

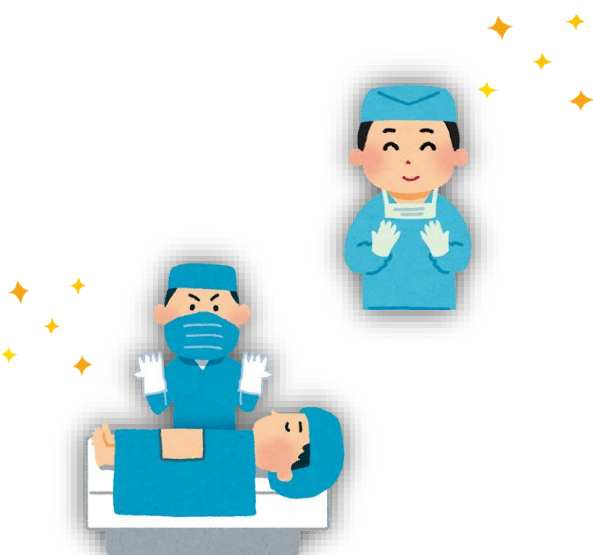
肝胆脾外科の診療体制を強化いたしました

当院は、肝胆脾高度技能認定施設Bの認定を受けております。これは、肝胆脾外科手術において高度な技術と豊富な実績を有する施設に与えられるもので、専門医による質の高い医療を提供している証です。青森市内では、青森県立中央病院と当院の2施設のみがこの認定を受けております。

全国的に膵胆系悪性腫瘍の罹患率は増加傾向にあります。例えば、国立がん研究センターの統計によると、膵がんの罹患数は2000年には約1.8万人であったものが、2020年には約4.3万人と、この20年間で2倍以上に増加しています。胆道がんも同様に増加しており、高齢化が進む日本において、これらの疾患に対する専門的な医療のニーズはますます高まっています。



3D画像解析システム SYNAPSE VINCENT



これまで、当院では肝胆脾外科高度技能指導医である豊木嘉一院長を中心に、内田知顕医師とともに肝胆脾診療を担ってまいりました。そして、2025年4月からは、弘前大学病院より肝胆脾外科高度技能専門医の資格を有する木村憲央医師が新たに赴任いたしました。これにより、肝胆脾系の悪性腫瘍や難治性疾患に対する手術治療において、より充実した診療体制を整えることができました。

高齢化が進む青森市内において、肝胆脾系の疾患は今後も増加が予想されます。当院では、この新たな体制のもと、ますます増えてくる肝胆脾系の疾患に対して、より高度で専門的な手術治療を提供してまいります。

また、患者さんの身体的負担を軽減するため、良性疾患を中心に、日本内視鏡外科学会認定の内視鏡技術認定医の資格を有する内田知顕医師を中心に腹腔鏡手術の導入率も高めております。低侵襲で安全な手術を提供できるよう、日々研鑽を積んでおります。

今後も地域の皆様に安心して質の高い医療を提供できるよう、地域医療機関との連携を密にし、貢献してまいります。肝胆脾疾患でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひ当院肝胆脾外科にご紹介いただけますようお願い申し上げます。

